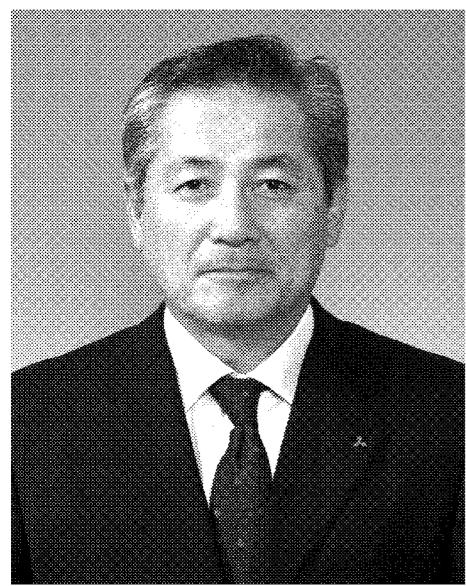


長崎の街 産業・観光のゲートウェイ



相馬 和夫氏
三菱重工業長崎造船所長

私は今年60歳になる。
故郷の熊本、京都の学生時代、兵庫、メキシコへの転勤、国内外長期出張などを差し引くと約25年間長崎に住んできただことになる。社会人としてス

タードし、結婚、子育て、そして最後は三菱長崎造船所長として長崎で過ごすことを幸せにまた誇りに思ふ。

長崎の街は独特である。

日本の中の急斜面にへばり

付いたような街並み、そ

れでありながら歴史・文

化・情緒の豊かさが過去

形ではなく脈々と今も生

きている。その典型的な

ものづくりによるものづくりによ

り、技術を追求してお

客さまに信頼され

るものづくりによ

り、技術を追求してお

る「今オランダ船

のグローバル化

の船所である。

長崎造船所である。

と自負している。

創業以来155

年の三井長崎造船所である。

その代表格が三菱

長崎造船所である。

風の中で決して安

泰ではないが、長

崎らしさを支え

る。あり続けると

思う。

一方で、これからも長

崎造船所である。

これまでの長い歴史

と、その歩みを支え

る。長崎造船所であ

る。

長崎造船所である。

これまでの長い歴史

と、その歩みを支え

る。長崎造船所であ

る。

これまでの長い歴史

と、その歩みを支え

る。長崎造船所であ

る。